

強化分野 [喫煙]

目標				
喫煙率の減少				
受動喫煙の機会をなくす				
未成年・妊婦の喫煙をなくす				
COPDを知っている人の割合の増加				
指標		基準値 (平成 25 年度)	中間値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
喫煙率	男性	27.6%	23.0%	10.0%
	女性	9.8%	6.0%	2.7%
妊婦		3.2%	1.4%	0%
妊婦の家族		39.2%	29.9%	0%
公共施設での敷地内禁煙実施率		—	16.5%	100%
受動喫煙の機会のある人の割合		51.1%	47.9%	0%
未成年で喫煙を開始した人の割合	男性	20.3%	15.2%	0%
	女性	15.0%	10.9%	0%
COPDについて知っている人の割合		42.7%	41.3%	80.0%

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
喫煙が健康に及ぼす影響についての啓発活動の実施	様々な広報媒体やイベントの場を活用した啓発活動の実施					
	世界禁煙デーイベントの開催					
	母子健康手帳交付時や乳児家庭全戸訪問事業等の母子保健事業時での啓発活動の実施					
	未就学児及び保護者を対象にした啓発の実施に向け、関係機関と検討	未就学児及び保護者を対象にした対策の実施				
受動喫煙防止対策の推進	様々な広報媒体を活用した啓発活動の実施					
	関係機関や庁内関係部署と対策の検討	対策の実施				
禁煙希望者への禁煙支援	禁煙治療実施医療機関の情報収集	禁煙支援マップ※1 (旧 禁煙外来マップ) の活用				

※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

2) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) 啓発活動(COPD、新型タバコ含む) ①健康推進員定例会において受動喫煙やCOPDに関する学習会を実施	実施済
②健康推進員の健康づくり活動を支援	実施中
③SNS、広報等による啓発	実施中
④健康教育による啓発	実施中
⑤母子保健事業(わんぱく歯科くらぶ※2)における啓発	実施中
(2) 高校生等未成年へ喫煙の害について啓発 ・市内高校(公立8校、私立2校)への啓発 ・教職員との情報交換(啓発チラシ等の効果について聞き取り等)	実施済 集計中
(3) 受動喫煙防止について啓発 ①母子保健事業(妊娠届、ママパパ学級等)における啓発(胎児等への影響)	実施中
②未就学児保護者への啓発	11月予定
(4) 望まない受動喫煙を防止する環境整備 ①禁煙のおもてなし店※3登録の推進と市民への周知	実施中
②市民からの受動喫煙被害の苦情等への対応	実施中
③町会・自治会掲示板にポスターを掲示	10/25 発送
(5) 母子保健事業で喫煙者への情報提供 ①母子健康手帳交付時及び出生届出時	実施中
②幼児健康診査受診時	実施中
(6) 母子健康手帳交付時に妊婦の喫煙状況を把握し、禁煙に向けて支援	実施中
(7) 禁煙希望者への禁煙支援	実施中
(8) 薬剤師会との連携 ①新規禁煙啓発ポスターによる啓発(薬剤師会と内容を協議し、作成及び関係機関へ掲示)	11月予定
②禁煙支援の推進について協議をすすめる	実施中
(9) 禁煙支援マップ更新、作成、周知 ①禁煙支援マップの更新	11月予定
②関係機関への配付	12月予定
<p>【令和4年度の取り組みのポイント】 未成年者への取り組みは、未成年者が正しい知識を得る機会として、啓発チラシの配付対象を市内公立高校生に加え、市内私立高校生に拡大し、啓発を実施する。また、配付後には教職員と情報交換を行い、啓発の効果についても検証する。 受動喫煙防止については、健康被害を受けやすい子どもや患者等と、その家族への周知強化を継続するとともに、町会・自治会掲示板にポスターを掲示し、地域住民への啓発を図る。 薬剤師会と協議し、薬剤師の視点を加えたポスターを作成し、禁煙支援薬局※4を利用する幅広い層への禁煙の普及啓発を行う。</p>	
<p>【令和4年度の取り組みの進捗】 7月中旬に市内の公立および私立の高校生(2学年)に対し、啓発チラシを配付。夏休み明けに同対象にアンケート実施を依頼した。9月末現在、アンケートを回収中であり、集計後に教員と情報共有を実施予定。 望まない受動喫煙を防止する環境整備として、町会・自治会掲示板に受動喫煙対策に関するポスターを掲示した(10/25 発送)。また、健康被害を受けやすい子どもや患者等へ広く周知するため、薬剤師会と協議、作成した禁煙啓発ポスターを薬局等へ掲示依頼予定。</p>	

強化分野 [がん検診]

目標			
がん検診の受診率の向上			
指標	基準値 (平成 24 年度)	中間値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
肺がん検診 (40～69 歳)	27.8%	24.6%	40.0%
大腸がん検診 (40～69 歳)	25.6%	21.6%	40.0%
胃がん検診 (40～69 歳)	12.7%	8.4%	40.0%
子宮頸がん検診 (20～69 歳)	32.3%	31.7%	50.0%
乳がん検診 (40～69 歳)	41.8%	44.0%	50.0%

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
未受診年齢層に対応した受診勧奨	がん検診の受診率向上のための受診勧奨					
個別受診勧奨及び再勧奨方法の検討及び実施	個別受診勧奨及び再勧奨方法の検討	登録者で未受診者への受診勧奨				

※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

【参考】がん検診の受診数・受診率

		肺がん	大腸がん	胃がん	子宮頸がん	乳がん
令和元年度	受診者数	15,814	13,927	5,270	20,853	15,357
	受診率	22.6	19.9	7.5	31.0	35.5
令和 2 年度	受診者数	12,657	11,181	4,635	20,949	9,078
	受診率	18.2	16.1	6.7	31.2	33.6
令和 3 年度	受診者数	14,211	12,637	5,185	18,717	12,336
	受診率	20.4	18.1	7.4	29.8	48.0

乳がん検診は、令和 2 年度より 50 歳以上は 2 年ごとの検診となったため、対象者数が減少している。また、検査方法も変更した。

(①マンモ 1 方向、②マンモ 2 方向③エコーのいずれかで実施。視触診による検査は廃止。)

3) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) 受診勧奨の推進	
① がん検診の重要性の啓発活動の推進 (広報まつど及び松戸市ホームページへの定期的な掲載)	実施中
② 社会保険加入者に対する受診勧奨	実施中
③ インターネットなどで簡単に登録することができる電子申請の利用の推進	実施中
④ がん検診の実施医療機関にポスター掲示を依頼	実施済
⑤ 国保年金課(旧 国民健康保険課)と連携し、がん検診のPRも一緒に実施(理容組合など)	調整中
⑥ 特定健診の集団健診の実施日に健診の待合場所などを利用し、がん検診のPRを実施	実施中
⑦ 幼児健診で受診勧奨のリーフレットの配付 (参考値: 令和3年度幼児健診7,128枚)	実施中
⑧ 地区担当の保健師の健康教育や家庭訪問時に受診勧奨を依頼	実施中
⑨ 子宮頸がん検診部会との連携により、子宮頸がん検診の受診勧奨の情報をまつどDE子育てLINE等で配信	実施中
⑩ 若い世代への受診勧奨 市内4大学の女子学生へ「子宮頸がん検診受診啓発チラシ」を配布 家族deチャレンジ健康づくり※5に参加した保護者へ「がん検診受診啓発チラシ」を配布	大学: 実施済 保護者: 10月予定
(2)	
① 再勧奨の実施について 令和2年度・3年度の再勧奨の実績をもとに、再勧奨対象を検討、通知を送付	11月予定
② 受診しやすい環境づくりの整備 ・ママサポート※6の再開(子どもの一時預かり業務委託) ・Webけんしん予約システム※7の導入準備(令和5年度より運用開始)	実施中
<p>【令和4年度の取り組みのポイント】</p> <p>令和4年度の取り組みとしては、昨年に引き続き受診勧奨を継続するとともに、受診しやすい環境整備を図る。</p> <p>1つ目として、以前実施していたママサポートを再開し、子育て世代の受診率の向上を図る。</p> <p>2つ目として、Webで検診の予約や変更が簡単にできる「Webけんしん予約システム」を令和5年度から運用開始ができるようにシステム改修や周知等、導入準備を行う。</p> <p>また、若い世代への受診勧奨として、市内4か所の大学の女子学生や家族deチャレンジ健康づくりに参加した保護者に対して、がん検診の受診勧奨を実施する。</p>	
<p>【令和4年度の取り組みの進捗】</p> <p>ママサポートは、コロナ禍により中止していたが、「一時預かり業務委託契約」による実施に変更し、3年ぶりに再開したところ、令和4年4月～7月までの乳がんと子宮頸がん検診において計8回、延べ37人の利用があった。</p> <p>「Webけんしん予約システム」については7月に機能の確認を行った。今後、次年度の運用開始に向けた準備を行っていく。</p> <p>若い世代への受診勧奨として、市内4か所の大学に子宮頸がん検診の受診勧奨チラシによる啓発を依頼した。また、10月には家族deチャレンジ健康づくりに参加した保護者に対して、参加賞に同封してチラシを配布する予定。</p>	

強化分野 [健康診査・保健指導]

目標			
特定健康診査の受診率の向上 特定保健指導の実施率の向上			
指標	基準値 (平成 24 年度)	中間値 (平成 28 年度)	目標値 (令和 6 年度)
特定健康診査受診率	29.8%	33.3%	42.0%
特定保健指導実施率	9.6%	12.7%	21.0%
※令和 5 年度末に策定する松戸市国民健康保険保健事業実施計画（第 3 期データヘルス計画）及び第 4 期特定健康診査等実施計画による目標値（予定）			

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画（令和元年度～令和 6 年度）						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
特定健康診査受診率向上対策	特定健康診査の受診勧奨の推進	インセンティブ付与事業※ ⁸ による受診勧奨の実施	インセンティブ付与事業の効果検証			
		応援団と連携した受診勧奨の実施				
		国保加入者が多いと思われる団体への受診勧奨・健診結果の情報提供等の方策の検討				
		データ分析による対象者選別を取り入れた効果的な受診勧奨の実施				
	特定健康診査の重要性の啓発活動の推進	地域との連携による受診勧奨の実施（健康推進員・町会、自治会等）				
		松戸健康福祉センターとの連携による啓発活動の実施 講演会・健康教育・パートナー講座における啓発活動の実施 様々な広報媒体を活用した啓発活動の実施 受診しやすい環境の検討及び環境づくりに向けた関係機関との調整				
特定健康診査が受診しやすい環境の整備	個別勧奨の実施（文書・電話・集団健診会場での面接）	関係機関との調整	受診しやすい環境整備の実施			
特定保健指導実施率向上対策	特定保健指導対象者への利用勧奨の推進	医療機関への利用勧奨依頼の実施	特定保健指導の実施件数向上に向けた医療機関との調整			
	特定保健指導の重要性の啓発活動の推進	対象者への特定保健指導の重要性や効果を啓発する方法の工夫				

※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

【参考】

松戸市と隣接する市の特定健康診査受診率の推移

	松戸市	市川市	鎌ヶ谷市	柏市	流山市
平成 20 年度	23.7%	43.8%	38.6%	33.4%	44.2%
令和 2 年度	30.2%	38.2%	34.3%	42.3%	43.3%
増減	+6.5	△5.6	△4.3	+8.9	△0.9

令和 3 年度 実績見込み (9 月 1 日現在) :34.6% (平成 20 年度比+10.9)

松戸市と隣接する市の特定保健指導実施率の推移

	松戸市	市川市	鎌ヶ谷市	柏市	流山市
平成 20 年度	4.5%	9.9%	50.5%	10.3%	5.1%
令和 2 年度	17.5%	13.7%	45.8%	23.3%	18.9%
増減	+13.0	+3.8	△4.7	+13.0	+13.8

令和 3 年度 実績見込み (9 月 1 日現在) :20.1% (平成 20 年度比+15.6)

2) 令和 4 年度の取り組み	進捗
(1) 健診未受診者への受診勧奨	実施中
①対象者の特性に合わせた内容を複数作成し勧奨通知を発送	
②40 歳代から 50 歳代の方への電話による受診勧奨	11 月予定
(2) 健診対象者への受診啓発	実施中
①医療機関、薬局、町会、イベント等で啓発チラシ、ポスターを配布	
②SNS での啓発	実施中
③かかりつけ医が患者に配付できる啓発チラシを健診受託医療機関に配付	実施済
(3) 保健指導未利用者への利用勧奨 文書及び電話勧奨を実施	実施中
(4) 保健指導対象者への利用勧奨 健診会場での対面勧奨を実施	実施中
(5) 特定保健指導の利用啓発	実施済
①かかりつけ医が対象者に配付できる啓発チラシを健診受託医療機関に配付	
②新規積極的支援利用者にインセンティブ（健康用品）の配付	実施中
【令和 4 年度の取り組みのポイント】	
<p>特定健診の受診勧奨・啓発とともに、若い頃から健診受診の習慣をつけられるよう「35 歳から 39 歳の国保健康診査」の受診勧奨・啓発を同時に実施し、毎年欠かさず受診することの重要性も発信していく。</p> <p>特定保健指導は、積極的支援を事業者委託し、利用者にインセンティブ用品を配付することで健康への関心を高め、生活習慣の改善へ繋げる。</p>	
【令和 4 年度の取り組みの進捗】	
<p>「35 歳から 39 歳の国保健康診査」の受診啓発は、松戸市公式 Twitter での発信を 6 月に 2 回実施。</p> <p>また、35 歳から 59 歳までを対象に、受診勧奨通知を 11 月に発送予定。</p> <p>特定保健指導の積極的支援は、事業者委託を開始。初回面談実施者にはトレーニング用のゴムバンドと、詳細な実践マニュアルも併せて配布し、3 か月の支援期間中に気軽に無理なく運動に取り組める環境を提供している。</p>	

取り組みの分野

[身体活動・運動・ロコモティブシンドロームの予防]

目標			
意識して体を動かす人の割合の増加			
運動習慣のある人の割合の増加			
ロコモティブシンドロームの認知度の増加			
関節疾患、骨折・転倒による新規要介護認定者の割合の減少			
指標	基準値 (平成 25 年度)	中間値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
意識して体を動かしている人の割合	61.2%	66.7%	72.0%
運動習慣のある人の割合	35.8%	64.7%	46.0%
ロコモティブシンドロームの認知状況	33.0%	43.0%	80.0%
女性の関節疾患、骨折・転倒による新規要介護認定者割合	31.0%	30.8%	30.0%

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ロコモティブシンドローム予防のための知識の普及啓発	ラジオ体操講習会の実施	ラジオ体操講習会の実施及び令和 3 年度以降の実施について検討	令和 2 年度の検討に基づき実施または終了			
	健康教育・パートナー講座による普及啓発					
	健康推進員との連携による地域住民への普及啓発					
	様々な広報媒体を活用した知識の普及啓発					
運動の習慣化に向けた環境づくり	運動が行える施設やサークル・団体等情報収集の実施と情報発信方法の検討	運動が行える施設やサークル・団体等の情報発信				
	ウォーキングマップ作成方法の検討	ウォーキングマップ作成	ウォーキングマップの普及啓発			

※「取り組み計画」は、中間評価報告書の記載をもとに、期間を「令和 6 年度」に修正

2) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) 健康教育・パートナー講座による普及啓発 (ロコモ予防と共にフレイル予防についても啓発)	実施中
(2) 健康推進員との連携による地域住民への普及啓発 ・ロコモ予防動画を活用した啓発(2020年10月健康推進員作製) ・その他啓発媒体の作成支援 ・健康づくり活動による啓発 ・ロコモ予防と共にフレイル予防に関する知識の啓発	実施中
(3) 各種広報媒体を活用した知識の普及啓発 (SNS、広報、健康ライフまつど※9等)	実施中
(4) 運動が行える施設やサークル・団体等情報収集の実施と情報発信方法の検討	実施中
(5) 市内15地区(14マップ)のウォーキングマップ完成及び配布、活用の拡大	実施中
<p>【令和4年度の取り組みのポイント】 引き続き健康推進員のウォーキングマップ作成を支援し、未完成の5マップについて完成を目指す。既に完成している地区については、地域住民が活用できるよう健康推進員と共に普及啓発を進めていく。 健康推進員との連携によりロコモティブシンドローム予防に取り組むと共にフレイル予防活動にも取り組み、成人期から高齢期まで切れ目のない予防活動を実施する。</p>	
<p>【令和4年度の取り組みの進捗】 健康推進員のウォーキングマップは、未完成の5マップも仕上がり、全地区のマップが完成した。活用については健康推進員が主体となって、町会や老人会等にて配布を行っている。引き続き、地域住民が身近なところで楽しみながら健康づくりを続けられるよう、他の応援団とも連携した普及啓発について健康推進員と検討する。 また、健康推進員へフレイルに関する学習会を10月に実施するため、学習会後はロコモティブシンドローム予防と共に、フレイル予防の推進に向けた健康づく活動に取り組んでいくことで、健康推進員との連携による成人期から高齢期までの切れ目のない予防活動を進めていく。</p>	

取り組みの分野 [栄養・食生活]

目標			
毎日、朝食を食べる人の割合の増加 バランスのよい食事（一日二食以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べる）ができていない人の割合の増加 適正体重を維持する人の増加がん検診の受診率の向上			
指標	基準値 (平成 25 年度)	中間値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
朝食を食べている（毎日・週 4～5 日）人の割合			
①20～40 歳代女性	82.6%	82.7%	①②85%以上
②20～40 歳代男性	68.8%	67.5%	
③小学 2 年生※10	99.0% (24 年度)	98.8% (27 年度)	③100%に近づける
小学 5 年生	97.6% (24 年度)	96.6% (27 年度)	
中学 2 年生	95.2% (24 年度)	95.1% (27 年度)	
一日に二食以上、主食・主菜・副菜をそろえて食べている人の割合	54.2%	54.1%	80.0%
適正体重の維持ができていない人の割合			
20 歳代女性のやせ	20.8%	18.9%	15.0%
40～60 歳代女性の肥満	15.5%	14.2%	12.5%
20～60 歳代男性の肥満	26.5%	27.4%	23.5%

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
関係機関、団体との連携による食育の推進※11	『松戸市食育推進計画』と連携した、「若い世代に対する食育推進」のためのモデル事業※13 の実施					
	応援団等との啓発・イベント等の取り組みの連携					
食習慣調査※12 の結果に基づいた生活習慣病予防事業の推進	野菜料理プラス 1 運動等の再検討及び実施					
一人ひとりにあつた、望ましい食生活を実践するための支援	適正体重を維持する人を増やすための新たな取り組みの検討	適正体重を維持する人を増やすための新たな取り組みの実施				
	様々な広報媒体を活用した情報提供					

※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

2) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) 「朝食喫食」の啓発 ①関係機関で特に若い世代が集まる場所(市立保育所・図書館等)でのポスター・チラシによる啓発	11月予定
②ニーズにあったチラシとするため、保育所を利用する保護者にアンケートを実施	11月末予定
(2)クックパッド松戸市公式キッチン「まつどのキッチン」の充実 ①『松戸市食育推進計画』モデル事業「若い世代に対する食育推進」と連携し、大学生の考案レシピ等を定期的に掲載	実施中
②「まつどのキッチン」の利用を促す働きかけを大学と連携して実施	実施中
(3)各種SNS(応援団公式SNS※14によるTwitter、インスタグラム等)を活用し、望ましい食習慣を啓発する情報提供を実施(隔月)	実施中
(4)成年期、壮年期を対象とした適正体重の維持等に関する啓発 ①医務室と連携し、啓発資料の配付を継続	実施中
②啓発の効果検証について医務室と協議	11月予定
<p>【令和4年度の取り組みのポイント】</p> <p>関係機関と連携した啓発を継続するとともに、保育所、保育園、認定こども園等を利用する保護者に対して、ニーズにあった啓発物となっているかアンケートを行い、啓発チラシのブラッシュアップを図る。</p> <p>また、成年期、壮年期を対象とする、適正体重維持の啓発については、市役所医務室と連携した市職員向けの取り組みを継続し、啓発チラシが対象に意識づけを図ることができたか効果をみるためのアンケート実施について医務室と協議する。</p> <p>食育推進計画により連携している大学との取り組みを拡充し、若い世代への健康増進の取り組みをすすめるとともに、SNSを活用して望ましい食習慣の啓発がはかれるよう配信内容の充実を図る。</p>	
<p>【令和4年度の取り組みの進捗】</p> <p>「朝食喫食」を啓発するポスターおよびチラシは、千葉県食育月間(11月)に合わせて保育所等で啓発を実施できるよう作成しており、あわせて保護者を対象にしたアンケート調査の準備も進めている。</p> <p>適正体重の維持に関する啓発は、今年度も医務室との連携により健診結果に資料を同封して啓発を行っている。9月以降、順次該当職員へ健診結果が送付されているところであり、啓発効果をみるためのアンケート実施については、今後医務室との協議により実施方法を検討する。</p> <p>クックパッド「まつどのキッチン」では大学生の考案レシピを定期的に掲載(4月～9月に6品掲載)するとともに、「まつどのキッチン」の利用を促すための周知媒体を大学生に作成協力依頼した(11月頃媒体完成予定)。</p>	

取り組みの分野 [飲酒]

目標			
適正飲酒量を知っている人の割合の増加 多量飲酒をする人の割合の減少 未成年の飲酒をなくす 妊婦の飲酒をなくす			
指標	基準値 (平成 25 年度)	中間値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
適正飲酒を知っている人の割合	男性 48.8% 女性 52.5%	男性 61.9% 女性 80.2%	男性 80.0% 女性 80.0%
多量飲酒者の割合	男性 18.0% 女性 10.1%	男性 21.2% 女性 8.9%	男性 13.0% 女性 6.4%
未成年の飲酒経験率	—	2.6%	0%
妊婦の飲酒率	1.1%	2.0%	0%

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
適正飲酒量や過度の飲酒が及ぼす健康影響に関する知識の普及啓発	様々な広報媒体やイベントの場を活用した情報提供の実施					
	健康教育等での啓発活動の実施					
	未成年者への飲酒に関する正しい知識の啓発方法の検討	未成年者への飲酒に関する正しい知識の啓発活動の実施				
飲酒妊婦・産婦に対する禁酒指導の推進	母子健康手帳交付時や乳児家庭全戸訪問事業等母子保健事業での情報提供や禁酒指導の実施					

※「取り組み計画」は、中間評価報告書の記載をもとに、期間を「令和 6 年度」に修正。

2) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) 媒体を活用した飲酒量の啓発 ① 広報まつど等による啓発	実施済
② まつど DE 子育て LINE※ ¹⁵ 等での普及啓発	11月予定
(2) パートナー講座等健康教育での飲酒量の啓発 生活習慣病予防として適正飲酒を啓発	実施中
(3) 高校生等未成年者へのチラシ配付による飲酒に関する情報提供 市内私立高校に配付対象を拡大	実施済 集計中
(4) 母子健康手帳交付時の聞き取りにより、飲酒状況を把握し、飲酒している妊婦に対して 保健指導を実施	実施中
【令和4年度の取り組みのポイント】 未成年者の飲酒防止をめざし、未成年者が正しい知識を得る機会として、 啓発チラシ配付を拡大 し市内公立高校生に加え、市内私立高校生も対象として啓発を実施する。チラシを受け取った高校生の反応について 教職員と情報交換 を行い、啓発の効果について検証していく。	
【令和4年度の取り組みの進捗】 7月中旬に市内の公立および私立の高校生（2学年）に対し、啓発チラシを配付。夏休み明けに同対象にアンケート実施を依頼した。9月末現在、アンケートを回収中であり、集計後に教員と情報共有を実施予定。	

取り組みの分野 [歯・口腔の健康]

目標			
乳幼児期・学童期のむし歯がない人の割合の増加			
歯周病を有する人の割合の減少			
歯の喪失防止			
何でも噛んで食べることができる人の割合の増加			
指標	基準値 (平成 25 年度)	中間値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
3 歳児でむし歯がない者の割合	80.9%	84.9%	90.0%
12 歳児の 1 人平均むし歯数	1.05 歯	0.86 歯	0.8 歯
20 歳代、30 歳代における歯肉出血がある者の割合			
20 歳代	59.0%	42.9%	25.0%
30 歳代	42.8%	45.8%	25.0%
過去 1 年間に歯科健診を受診した者の割合	54.5%	51.2%	65.0%
60 歳における 24 歯以上自分の歯を有する者の割合	74.9%	77.6%	85.0%
60 歳代における何でも噛んで食べることができる者の割合	83.2%	87.4%	90.0%

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
フッ化物洗口実施施設 の増加	保育所 (園)・幼稚園でのフッ化物洗口と普及啓発の実施					
小学校での歯科保健 対策の検討及び実施	小学校との情報交換、調査		対策の検討	小学校と連携して対策の実施		
定期的に歯科健診を 受診する者を増加さ せる対策の検討及び 実施	対策の検討		対策の実施			
特定健診対象者に対 する歯科保健対策の 検討及び実施	松戸歯科医師会、国民健康保 険課と連携して対策の検討		松戸歯科医師会、国保年金課 (旧 国民健康保険課) と連携して対策の実施			

※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

3) 令和4年度の取り組み	進捗
(1)フッ化物洗口実施施設の増加 未実施施設へ希望調査を実施	11月予定
(2)小学校での歯科保健対策の検討及び実施 歯科医師会、教育委員会と連携し、小学校でのフッ化物洗口拡大に協力する	実施中
(3)定期的に歯科健診を受診する者を増加させる 成人歯科健康診査のニーズ・満足度等の調査を実施し健診内容、啓発方法について検討する	実施中
(4)「口腔機能低下者に対するオーラルフレイル※16 予防プログラム※17」へ繋げるため、成人歯科健康診査の高齢者（75歳以上）のデータ分析をする	実施済
(5)特定健診対象者に対する歯科保健対策 ①特定保健指導対象者へ新たにチラシを作成し配付	実施済
②特定健診受診者が歯科健診や歯科相談を受ける機会を得られるよう検討する	実施中
<p>【令和4年度の取り組みのポイント】 成人歯科健康診査の満足度、ニーズ調査を実施し、継続受診に繋がるような取り組みや、未受診者へのアプローチ方法を検討する。 また、新たに75歳以上の高齢者に対し口腔機能検査を実施し、「口腔機能低下者に対するオーラルフレイル予防プログラム」へ繋げるための方法を検討する。 特定健診対象者への取り組みとしては、メタボリックシンドロームと歯周病の関係について啓発し、より多くの方が歯科健診や歯科相談を受ける機会を得られるよう検討する。</p>	
<p>【令和4年度の取り組みの進捗】 成人歯科健康診査のニーズ・満足度調査を令和4年5月から7月までのママパパ学級参加者に対して実施した。調査結果を集計分析し、継続受診に繋がるような取り組みや未受診者へのアプローチ方法を検討中である。 また、成人歯科健康診査の75歳以上の健診結果（令和4年4月から7月分）を集計分析した。今後は、口腔機能低下者をオーラルフレイル予防プログラムへ繋げる方法を検討する。 国保年金課で実施している特定健康診査の受診者へ、口腔の健康とメタボリックシンドロームの関係を掲載した成人歯科健康診査のチラシを配付していたが、より多くの方が歯科健診や歯科相談を受ける機会を得られるよう、新たにナッジ理論※18を応用したチラシを作成し令和4年10月より配付を開始している。</p>	

取り組みの分野 [休養]

目標			
睡眠による休養が十分に取れていない人の割合の減少			
指標	基準値 (平成 25 年度)	中間値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
睡眠による休養が十分に取れていない人※の減少	28.0%	26.0%	15.0%
※アンケート調査において「あまりとれていない」「全くとれていない」人の合計			

※中間値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
睡眠に関する正しい知識の普及啓発	「こころの体温計※19」の利用促進に向けた啓発活動の実施 (偶数年にチラシの作成)				継続の検討	
	広報による知識の普及啓発		広報及び情報誌による知識の普及啓発		啓発方法の検討	
	SNS での情報発信の準備	SNS での情報発信				
	幼児健診等における保護者への知識の普及啓発					
企業におけるワークライフバランスに関する施策や睡眠の啓発に関する現状の把握と対策の実施	学校や教育委員会との情報交換・働きかけの模索・準備		学校の間を活用した啓発活動の実施			
	商工会議所と情報交換の実施	企業に向けた情報発信	対策の再検討	対策の実施		

※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

2) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) 睡眠に関する正しい知識の普及啓発	実施中
①睡眠の日（9月3日、3月18日）に合わせ、睡眠の知識について広報掲載	実施中
②SNSにて、「こころの体温計」及び「睡眠障害チェック※20」の普及	実施中
③イベントや講演会、パートナー講座等で、「こころの体温計」のチラシや、睡眠の必要性を伝えるパンフレット等を配布	実施中
④相談先を若年向けに再考した「こころの体温計」のキャリアファイルを市内公立高校8校（1年生）へ夏休み前に配付し、活用をすすめる 私立高校2校へ配付について調整する	実施済
⑤中学生以下の若い世代へ正しい知識を啓発するため、関係機関との連携を強化し、その結果を分析することで効果的な啓発方法を検討する	実施中
⑥1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査の受診者へ生活リズムに関するリーフレットの配付	実施中
(2) 企業に向けた情報発信	実施中
①商工会議所やハローワークと連携を図りながら、利用者や企業に向けて休養や睡眠に関する情報発信を実施	実施中
②健康づくり推進会議で募った意見を基に企業等に向けた新たな取り組みを令和5年度実施に向けて検討	実施中
【令和4年度の取り組みのポイント】	
学務課学校保健担当室（旧 保健体育課）との連携を継続し、特に中学生以下の若い世代や保護者世代へのより効果的な啓発方法を検討する。 高校生への啓発については、市内公立・私立高校の1年生向けに「こころの体温計」デザインのキャリアファイルを作成して活用を進め、その他の世代についても、引き続き「こころの体温計」チラシの配架や配付により睡眠、休養に関する情報を周知する。	
【令和4年度の取り組みの進捗】	
学務課学校保健担当室と中学生に向けての普及啓発について具体的な内容の検討に向けて調整中である。高校生への啓発については、私立高校を含めた10校の高校に対し夏休み前のキャリアファイルの配布を行った。また、キャリアファイルの予備分については子どもわかもの課を通して青少年プラザ（中高生世代を中心とした子どもたちのための施設）への配置を依頼した。 その他の世代に対する周知については、チラシを活用し、睡眠、休養に関する情報を引き続き周知していく。	

[健康松戸 21 応援団]

目標		
市民が、応援団の活動を知ることができる		
多くの民間企業や市民団体等が応援団に入団し、市民の健康づくりを支援することができる		
応援団が、やりがいを持ち、応援団としての活動が継続できる		
応援団の構成員が、自ら健康づくりに取り組むことができる		
指標	現状値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
応援団の認知度	3.6%	20.0%
応援団入団数	175 団体	200 団体
応援団との協働事業開催数	年間 8 回	年間 20 回
応援団アンケートで「健康づくりの関心が高まった」と回答した割合	55.3%	70.0%

※現状値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
応援団との連携強化	健康ライフまつどの発行、応援団秋の健康フェスティバル※21、松戸まつりへのブース出展					
応援団の仕組みの再検討	仕組みの検討	応援団実施要綱の変更	新たな仕組みでの実施			
市民への応援団の周知	様々な広報媒体を活用した啓発活動の実施					
応援団の健康づくりの推進	応援団への健康教育の実施や健（検）診受診勧奨					

※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

2) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) 健康松戸21 応援団による秋の健康フェスティバル開催	11/6 予定
(2) 応援団による健康に関するポスター、チラシを活用した啓発 （「健康ライフまつど」を含む）	実施中
(3) 協働事業の実施	実施中
(4) 広報や SNS、ホームページ等を活用した健康松戸21 応援団の周知	実施中
(5) 「応援団表彰制度※22」の実施	11/6 予定
(6) 健康松戸21 応援団へ健康情報（応援団通信※23）の提供	実施中
(7) 新規 応援団公式 SNS を活用した健康づくり情報の発信	実施中
【令和4年度の取り組みのポイント】 昨年度に引き続き 秋の健康フェスティバルを開催 するにあたっては、感染状況を踏まえて開催方法（オンラインもしくは会場開催）を検討する。また、 応援団を周知 するための啓発活動に取り組む。具体的には、ホームページの改修や応援団公式 SNS を活用した 健康づくり情報の発信 を行う。	
【令和4年度の取り組みの進捗】 健康フェスティバルについては、3年ぶりの現地開催に向けて準備中をすすめており、健康日本21（第二次）推進松戸市大会として、「健康度測定」を実施することで自らの健康を振り返り、健康づくりのきっかけ、定着、継続につながるイベントとして企画した。 また、広く健康づくりについて啓発するために、応援団公式 SNS を活用し、各応援団との連携により健康情報の発信を引き続き実施する。	

[まつど健康マイレージ]

目標		
健康に関連した事業・イベント等へ参加して健康づくりに取り組む市民が増える 多くの市内企業や団体等が、事業をとおして市民の健康づくりを支援することができる		
指標	現状値 (平成 29 年度)	目標値 (令和 6 年度)
応募用紙内アンケートにおける事業がきっかけで特定健診・がん検診を受けた割合	56.6%	70.0%
マイル付与協力団体※ ²⁴ 数	891 団体	1,050 団体
まつど健康マイレージ事業の認知度	26.1%	35.0%

※現状値は平成 29 年度中間評価報告書より記載

1) 取り組み計画 (令和元年度～令和 6 年度)						
方向性	令和元年度 (平成 31 年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
事業の普及啓発	様々な広報媒体を活用した事業の啓発					
事業に参加しやすい 仕組みづくり	参加しやすい仕組み の検討	参加しやすい仕組みの実行				
マイル付与協力団体 の拡充	応援団のうち、企業・団体へのマイル付与協力団体への登録勧奨					

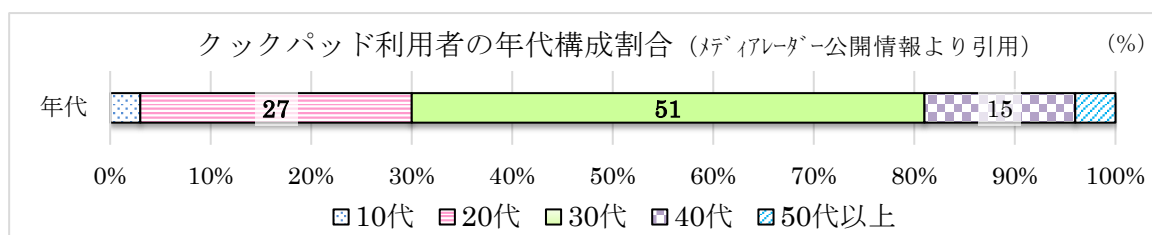
※平成 29 年度中間評価報告書より「取り組み計画」を抜粋し、期間を「令和 6 年度」までに修正

2) 令和4年度の取り組み	進捗
(1) Twitter等のSNSを活用した啓発	実施中
(2) 「家族deチャレンジ健康づくり」参加保護者に対してマイレージを周知し、健康づくりに取り組む若い世代の増加を図る	10月予定
(3) 高齢者を対象とする催し物や各種窓口などでマイレージを周知し、高齢者の健康づくりへの取り組みを図る	実施中
(4) コロナ禍にあっても、マイル対象のオンラインで参加可能なイベントや医療講演会などをマイレージのホームページで積極的に周知し、効果的な健康づくりができる市民の増加を図る	実施中
(5) 若い世代とつながりのある団体・企業などに対し、マイレージを周知し、健康づくりへの取り組みや、応援団、マイル付与協力団体の登録を呼びかける ※健康づくりの習慣を現役世代から意識してもらうため	11月予定
<p>【令和4年度の取り組みのポイント】 民法改正で成人年齢が20歳から18歳へ引き下げられたことに伴い、健康マイレージの対象年齢も同様に引き下げたので、これまで以上に若い世代へのアプローチが重要になってくると考える。これまでの情報発信や周知活動に加え、市内の高校や大学への働きかけなども視野に入れた取り組みを展開していく。</p>	
<p>【令和4年度の取り組みの進捗】 健康マイレージの参加対象年齢を18歳からに引き下げたことに伴い、従来のSNSを活用した啓発に加え、市内4大学（千葉大園芸学部、聖徳大学、日本大学松戸歯学部）にパンフレット配架、ポスター掲示を依頼するとともに、デジタルサイネージ※²⁵を活用した周知も行った。 また、10月には昨年度同様「家族deチャレンジ」の参加者の保護者層に対しても参加賞の配布を通じて、健康マイレージへの参加の呼びかけを行うなどし、引き続き若い世代に向けた周知活動に力を入れていく。</p>	

【用語解説】

- ※1 「禁煙支援マップ」とは、禁煙外来マップ（松戸市が作成した健康保険で禁煙治療を受けられる医療機関が掲載されたパンフレット）を改定し、松戸市薬剤師会の取り組みである「禁煙支援薬局」の情報を追加したパンフレット。（令和4年1月時点での情報を掲載）
- ※2 「わんぱく歯科くらぶ」とは、幼児のむし歯予防教室で2歳2か月から3歳5か月までの期間に実施している。2回シリーズ（1回目：むし歯菌の検査や歯みがき指導、2回目：歯科健診・相談、フッ化物塗布）で実施しており、保護者自身の歯科保健指導も実施している。
- ※3 「松戸市禁煙のおもてなし店」とは、改正健康増進法による規定よりもさらに積極的な受動喫煙防止対策を実施するなど、本市が定めた要件を満たす飲食店のこと。
- ※4 「禁煙支援薬局」とは、松戸市薬剤師会が行う禁煙に関する研修会を受講した薬局のこと。薬剤師会による禁煙をサポートする取り組み。
- ※5 「家族 de チャレンジ健康づくり」とは、夏休み期間中に小学生とその保護者が一緒に健康づくりに取り組む事業のこと。参加用紙の目標（運動、栄養、口腔、睡眠）を小学4～6年生と保護者が一緒に達成することで1ポイントが貯まる仕組みとなっている。児童と保護者の双方に健康づくりを啓発する取り組みとして、令和3年度試行実施。
50ポイントを達成した小学生への参加賞（松戸市医師会、松戸歯科医師会より提供）とともに、保護者向けに健康診断、成人歯科健康診査、がん検診案内チラシを同封することで受診勧奨を行うとともに、マイレージパンフレットも同封し啓発を行った。
- ※6 「ママサポート」とは、乳がん及び子宮頸がんの集団検診（一部日程）において、保護者が検診車に入っている間、お子さんの一時的な預かり保育業務（委託）のこと。
- ※7 「Webけんしん予約システム」とは、令和5年度より導入予定のシステムで、がん検診の予約や変更がパソコンやアプリで簡単にできるようになる。
- ※8 「インセンティブ付与事業」とは、特定健康診査受診者に1,000円分のクオカードを付与することで、健康無関心層に健診受診のきっかけを与え、それをもって受診率の向上につなげる事業。
国のガイドラインに沿い、平成29年度から平成31年度の3か年限定で実施した。
- ※9 「健康ライフまつど」とは、第一生命（株）が顧客訪問時に配付する、健康に関する情報を掲載したチラシのこと。本市と第一生命（株）は、包括的連携協定を締結している。
- ※10 小学2年生、5年生及び中学2年生の朝食を食べている人の基準値及び現状値は、「食事に関するアンケート調査」（3年ごとに学校にて調査実施）の結果を用いている。
- ※11 「食育の推進」とは、食育推進計画と健康増進計画のいずれも、「朝食を食べること」と、「主食・主菜・副菜がそろったバランスのよい食事の実践」を推進していることから、連携して取り組みをすすめている。
- ※12 「食習慣調査」とは、松戸市民の食の実態を把握するために行った調査（平成26年度から28年度に実施）のこと。松戸市のホームページにおいて「市民の食生活についての調査」として結果は公開中。
https://www.city.matsudo.chiba.jp/kenko_fukushi/shiminnokenkou/syokuseikatutyousa.html
- ※13 「モデル事業」とは、第3次松戸市食育推進計画の基本目標を達成するため、重点項目「若い世代に対する食育を促進する」に関連した取り組みのひとつとして実施している「学生（聖徳大学）によるレシピ考案」事業。（令和元年11月より新規モデル事業として実施）
考案されたレシピは、若い世代の利用者が多い「クックパッド（松戸市公式キッチン）」で公開しており、教育委員会等との連携だけでなく、食育ボランティア松戸や食生活改善サポーター（健康松戸21応援団）とも連携して取り組んでいる。

【参考】メディアレーダー「クックパッド」ユーザープロフィールについての公開情報より引用 (<https://media-radar.jp/detail428.html>)



- ※14 「応援団公式 SNS」とは、令和3年度に開設した健康松戸21応援団のアカウントによる Twitter、Facebook、インスタグラムのこと。応援団の活動に関する情報のほか、健康情報も発信する。
- ※15 「まつど DE 子育て LINE」とは、市内在住の妊婦及び子育て中の保護者を対象とした出産や育児など、その時期に必要な情報を配信する松戸市公式アカウントから配信される LINE のこと。
- ※16 「オーラルフレイル」とは、嚙んだり、飲み込んだり、話したりするための口腔機能の衰えを指し、早期の重要な老化のサインとされている。
- ※17 「オーラルフレイル予防プログラム」とは、高齢者の口腔機能の低下防止のための保健指導や助言によりオーラルフレイルを予防し、QOLの維持向上を目指すもの。
- ※18 「ナッジ理論」とは、対象者に「選択の余地を残しながらもより良い方向に誘導する」、または「最適な選択ができない人をより良い方向に導く」ための行動経済学上の理論。「ナッジ」は「そっと後押しする」の意味の英語。
- ※19 「こころの体温計」とは、パソコンや携帯電話、スマートフォンから簡単に気軽にいつでも、自分で心の健康状態をチェックでき、結果に基づいて相談窓口につながるシステム。案内チラシの裏面には、主な相談窓口が掲載されている。
- ※20 「睡眠障害チェック」とは、「こころの体温計」システムに付加されたメニューのひとつで、自分の睡眠の状態をチェックして、健康づくりのための睡眠指針などにつなげる機能である。
- ※21 「秋の健康フェスティバル」とは、例年開催している「健康松戸21 応援団 DE 秋の健康フェスティバル」のこと。令和2年度に引き続き、令和3年度も「新しい生活様式」に基づいた健康づくりとして、オンラインによる情報発信を中心に11月1日から30日まで開催した。現在も、イベント開催報告ページとして情報を公開中である。
- ※22 「応援団表彰制度」とは、応援団として市民の健康づくりに5年間貢献されたことに感謝の意を表し表彰する取り組み。①応援団として市民の健康づくりに貢献したことを讃えることにより、応援団自身のモチベーションが向上する、②更なる健康づくりの取り組みを促進する機会を作る、③応援団を市民に周知する、の3点を目的とする。対象となる団体へ表彰状の贈呈し、ホームページに掲載したほか、応援団公式 SNS でも配信した。
- ※23 「応援団通信」とは、応援団に向けた健康づくりの情報誌のこと。令和元年度から新規の取り組みとして、年4回発行している。
- ※24 「マイル付与協力団体」とは、健康松戸21 応援団のうち、まつど健康マイレージ事業のマイル付与にご協力いただいている団体のこと。団体代表者が応援団兼マイル付与団体への登録申請をすることで、当該団体に所属する支部等のすべてがマイル付与協力団体の対象となるため、応援団数に対してマイル付与団体数が多い状況となっている。(例:松戸市スポーツ協会が、応援団及びマイル付与協力団体の登録をしていることで、所属する各団体もマイル付与協力団体となる)
- ※25 「デジタルサイネージ」とは、電子看板・ディスプレイのこと。市内には、松戸駅とテラスモール松戸に設置されている。

本日はママパパ学級にご参加いただきありがとうございます。

本調査は松戸市の成人歯科健康診査を受けていただきやすい事業にしていくための基礎資料とするものです。アンケートの回答は無記名であり、個人が特定されることはありません。また調査結果を目的以外に使用する事はございませんので、ご協力をお願いいたします。

当てはまるところに○をつけてください。

Q1. 年齢をお聞かせください。

- ・20歳代 ・30歳代 ・40歳代 ・その他

Q2. ママパパ学級1日目を受けましたか？

- ・はい ・いいえ

Q3. 松戸市の成人歯科健康診査を受診したことがありますか？

- ・はい → Q4へ進んでください ・いいえ → Q9(裏面)進んでください

Q4. これまで成人歯科健康診査を何回受診しましたか？

- ・1回 ・2回以上

Q5. 成人歯科健康診査を何で知りましたか？すべてお知らせください。

- ・チラシ
- ・ポスター
- ・市のホームページ
- ・広報まつど
- ・市の事業(ママパパ学級含む)やイベント
- ・SNS(市の公式 Twitter、Facebook、子育て LINE、子育てアプリ「母子モ」)
- ・家族や知人の紹介
- ・かかりつけ歯科医に勧められた
- ・その他()

Q6. 成人歯科健康診査の以下の点について、どれくらい満足していますか？

PR 方法	・満足	・やや満足	・普通	・やや不満	・不満
予約方法	・満足	・やや満足	・普通	・やや不満	・不満
健診内容	・満足	・やや満足	・普通	・やや不満	・不満
結果説明	・満足	・やや満足	・普通	・やや不満	・不満
健診後の保健指導	・満足	・やや満足	・普通	・やや不満	・不満

裏面もお答えください

Q7. 成人歯科健康診査について、総合的にどれくらい満足していますか？

- ・満足
- ・やや満足
- ・普通
- ・やや不満
- ・不満

Q8. 成人歯科健康診査に対する要望をお知らせください。(自由記載)

[]

※ Q.3で「はい」と回答した方は終了です。ご協力ありがとうございました。

ここからは Q3 で「いいえ」とお答えいただいた方にお聞きします

Q9. 成人歯科健康診査以外の歯科健診を受診していますか？

- ・はい
- ・いいえ

Q10. 成人歯科健康診査を受診しなかった理由をすべてお聞かせください。

- ・成人歯科健康診査を知らなかった
- ・かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受診しているから
- ・職場の近くで受診したいが、職場が市外だから
- ・むし歯や歯周病を治療中だから
- ・むし歯や歯周病を指摘されるのが嫌だから
- ・歯科健診を受診する必要性を感じないから
- ・面倒だから
- ・時間がないから、受けたい日時に予約できなかったから
- ・かかりつけ歯科医が委託医療機関ではないから
- ・その他()

Q11. どのような歯科健診なら受診してみたいですか？すべて教えてください。

- ・検査結果を丁寧に説明してくれる
- ・ブラッシング方法などセルフケアについて丁寧に教えてくれる
- ・歯のクリーニングをしてくれる
- ・歯ブラシなどのプレゼントがある
- ・歯科医師、歯科衛生士の対応が良い
- ・その他()

※ Q3で「いいえ」と回答した方は終了です。ご協力ありがとうございました。

成人歯科健康診査における満足度・ニーズ調査結果

1. 対象者

ママパパ学級2日目に参加した妊婦のパートナー

2. 実施期間

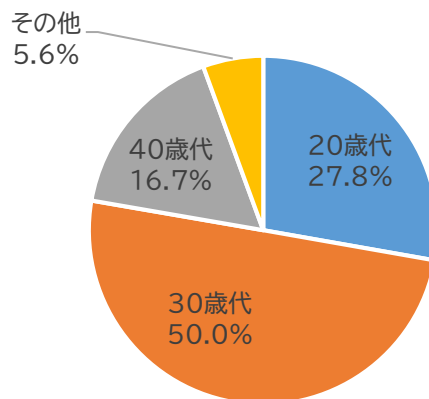
令和4年5月から7月末(3か月間)

3. 参加者数 207人

回答数 198人(回答率 95.7%)

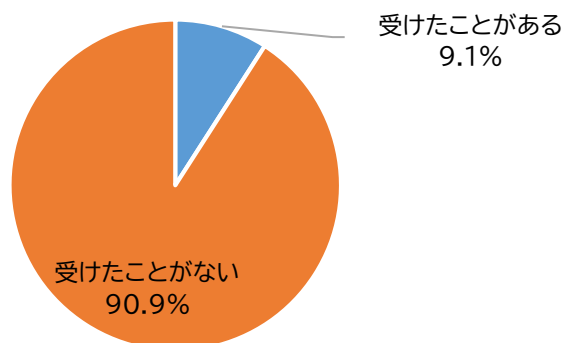
4. 結果

① 年齢をお聞かせください



ママパパ学級に参加した人の年齢は20歳代が27.8%、30歳代が50.0%であった。

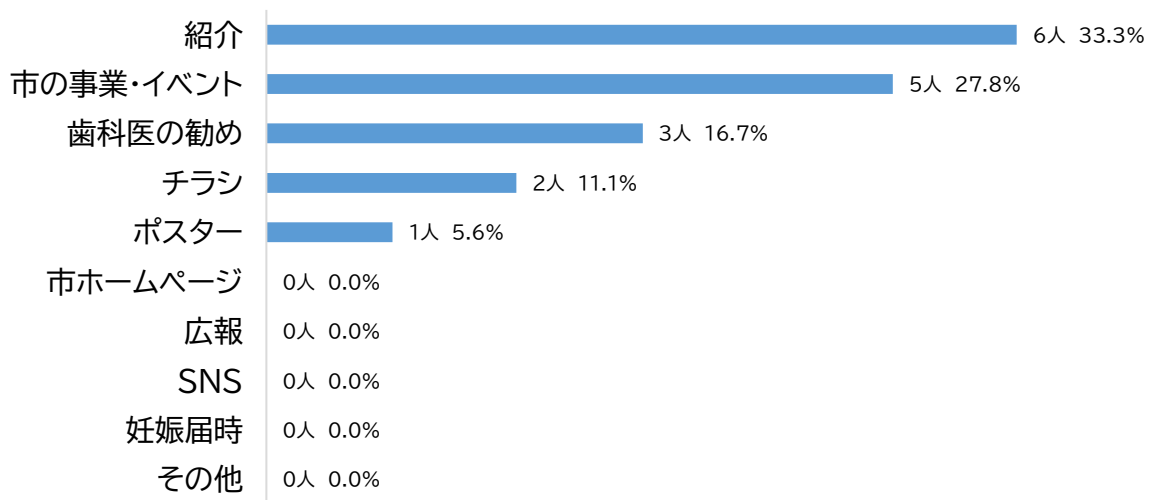
② 松戸市の成人歯科健康診査を受診したことがありますか？



成人歯科健康診査を受けたことがある人は9.1%だった。

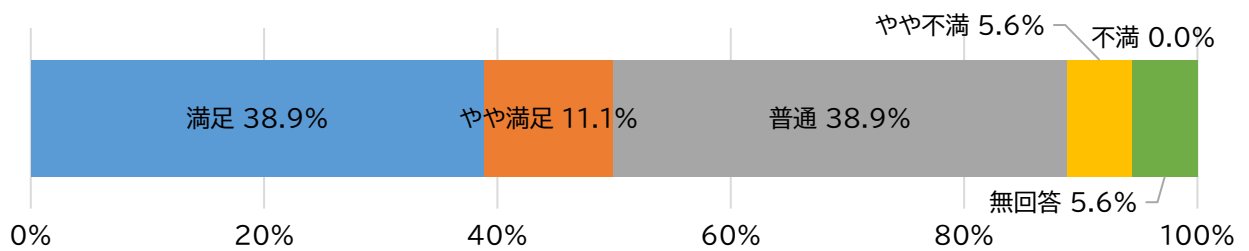
【成人歯科健康診査を受診したことがある人】

③ 成人歯科健康診査を何で知りましたか？(複数回答可) n=18



成人歯科健康診査は「紹介」が 33.3%、次いで「市の事業、イベント」27.8%であった。

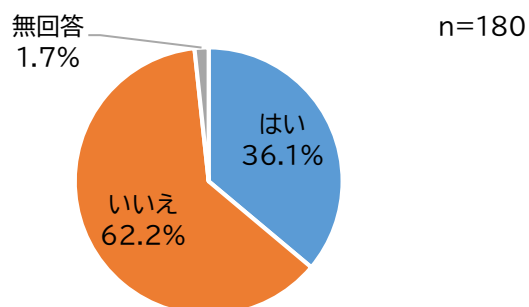
④ 成人歯科健康診査について、総合的にどれくらい満足していますか？ n=18



成人歯科健康診査を受診した人は、「満足」「やや満足」を合わせると 50.0%であった。

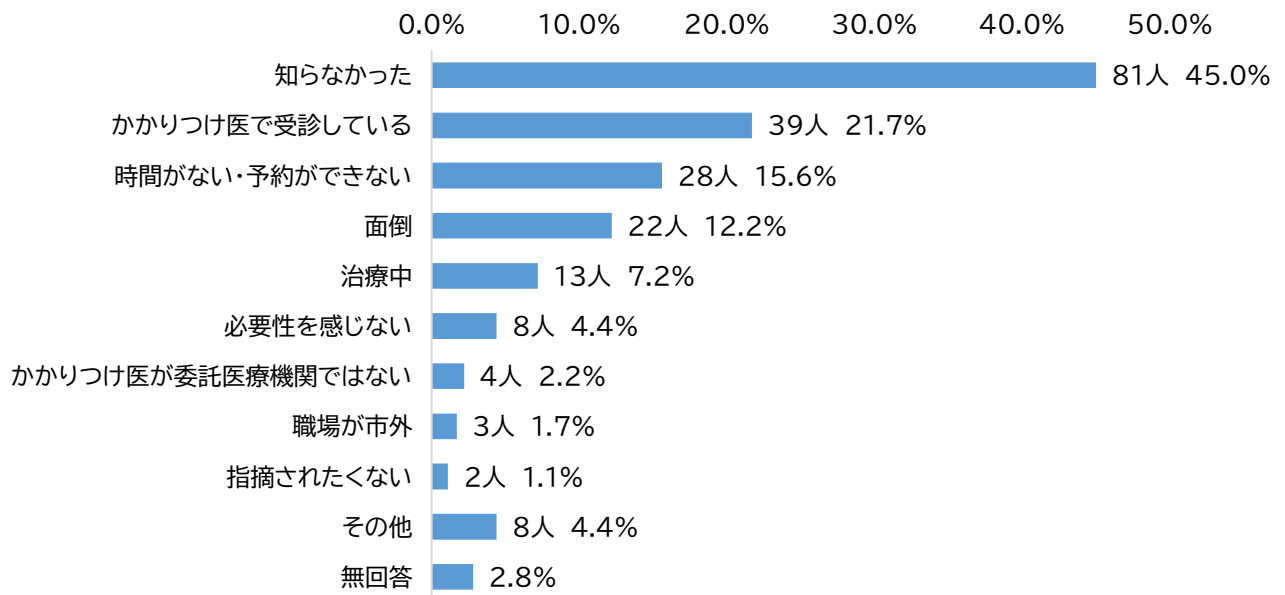
【成人歯科健康診査を受診したことがない人】

⑤ 成人歯科健康診査以外の歯科健康診査を受診していますか？



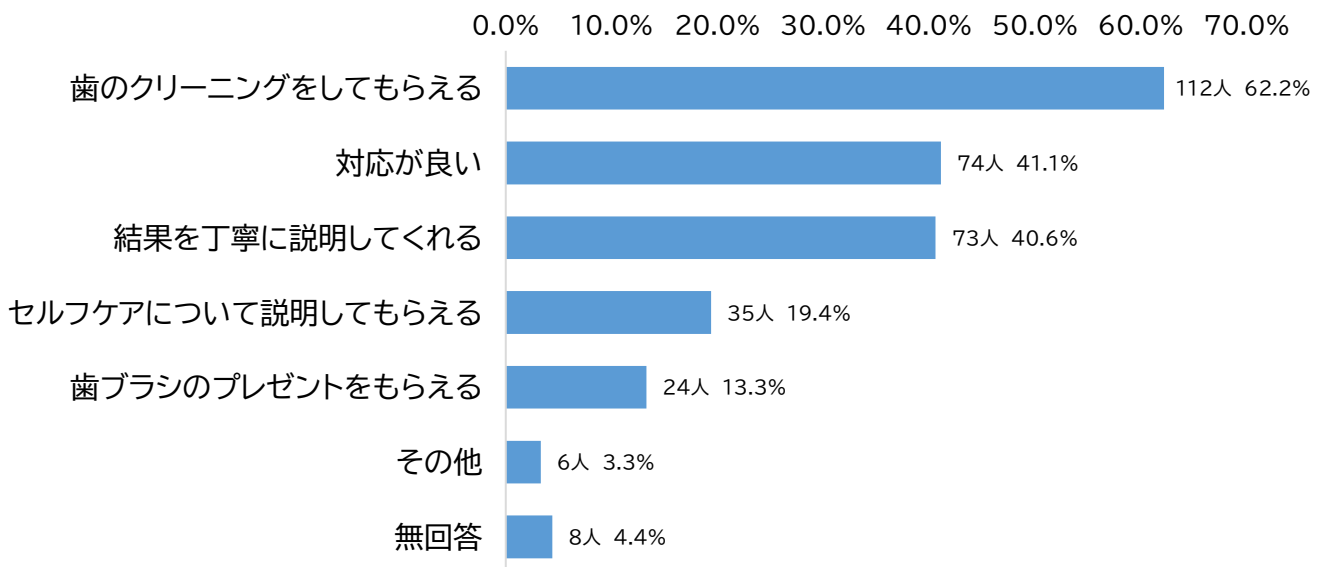
成人歯科健康診査以外の歯科健康診査を受診している人は 36.1%であった。

⑥ 成人歯科健康診査を受診しなかった理由を全てお聞かせください(複数回答可) n=180



成人歯科健康診査を受診しなかった理由で「知らなかった」が一番多く、45.0%であった。次いで、「かかりつけ医で受診している」21.7%であった。

⑦ どのような歯科健診なら受診してみたいですか?(複数回答可) n=180



成人歯科健康診査に求めることは、「歯のクリーニング」が一番多く62.2%であった。次いで、「対応が良い」41.1%、「結果を丁寧に説明してくれる」40.6%であった。

本日はママパパ学級にご参加いただきありがとうございます。

本調査は妊婦の皆様へ松戸市の妊婦歯科健康診査を受けていただきたく、運営方法等を検討するための基礎資料とするものです。アンケートの回答は無記名であり、個人が特定されることはありません。また調査結果を目的以外に使用する事はございませんので、ご協力をお願いいたします。

当てはまるところに○をつけてください。

Q1. 年齢をお聞かせください

- ・10歳代 ・20歳代 ・30歳代 ・40歳代 ・その他

Q2. ママパパ学級1日目を受けましたか？

- ・はい ・いいえ

Q3. 20歳以上の方が対象の松戸市の成人歯科健康診査を受診したことがありますか？

- ・はい(1回 ・2回以上) ・いいえ

Q4. 松戸市の妊婦歯科健康診査を受診したことがありますか？

- ・はい→**Q5**へ進んでください ・いいえ→**Q9(裏面)**へ進んでください

Q5. 妊婦歯科健康診査を何で知りましたか？(複数回答可)

- ・妊娠届時に母子健康手帳別冊の受診券の説明を受けた
- ・チラシ
- ・ポスター
- ・市のホームページ
- ・広報まつど
- ・市の事業(ママパパ学級含む)やイベント
- ・SNS(市の公式 Twitter、Facebook、子育て LINE、子育てアプリ「母子モ」)
- ・家族や知人の紹介
- ・かかりつけ歯科医に勧められた
- ・その他()

Q6. 妊婦歯科健康診査の以下の点について、どれくらい満足していますか？

PR方法 ・満足 ・やや満足 ・普通 ・やや不満 ・不満

予約方法 ・満足 ・やや満足 ・普通 ・やや不満 ・不満

健診内容 ・満足 ・やや満足 ・普通 ・やや不満 ・不満

結果説明 ・満足 ・やや満足 ・普通 ・やや普通 ・不満

健診後の保健指導 ・満足 ・やや満足 ・普通 ・やや不満 ・不満

裏面もお答えください

Q7. 妊婦歯科健康診査について、総合してどれくらい満足していますか？

- ・満足
- ・やや満足
- ・普通
- ・やや不満
- ・不満

Q8. 妊婦歯科健康診査に対する要望をご記入ください。(自由記載)

()

※ Q4 で「はい」と回答した方は、終了です。ご協力ありがとうございました。

ここからは Q4 で「いいえ」とお答えいただいた方にお聞きします

Q9. 妊婦歯科健康診査以外の歯科健診を受診していますか？

- ・はい
- ・いいえ

Q10. 妊婦歯科健康診査を受診しなかった理由をお聞かせください(複数回答可)

- ・これから受診する予定
- ・妊婦歯科健康診査を知らなかった
- ・かかりつけ歯科医院で定期的に歯科健診を受診している
- ・職場近くで受診したいが、職場が市外だから
- ・むし歯や歯周病を治療中だから
- ・むし歯や歯周病を指摘されるのが嫌だから
- ・面倒だから
- ・時間がないから、受けたい日時に予約できなかったから
- ・かかりつけ歯科医院が委託医療機関ではないから
- ・体調がすぐれなかったから
- ・その他()

Q11. どのような歯科健診なら受診してみたいですか？(複数回答可)

- ・検査結果を丁寧に説明してくれる
- ・ブラッシング方法などセルフケアについて丁寧に教えてくれる
- ・歯のクリーニングをしてくれる
- ・歯ブラシなどのプレゼントがある
- ・歯科医師、歯科衛生士の対応がいい
- ・その他()

※ Q4 で「いいえ」と回答した方は終了です。ご協力ありがとうございました。

松戸市子ども家庭相談課

妊婦歯科健康診査における満足度・ニーズ調査結果

1. 対象者

ママパパ学級2日目に参加した妊婦

2. 実施期間

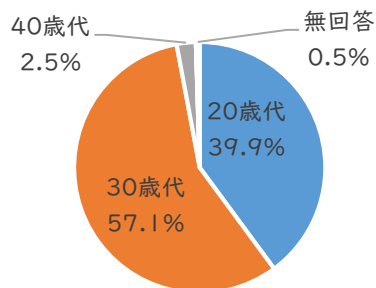
令和4年5月から7月末(3か月間)

3. 参加者数 215人

回答数 204人(回答率 81.3%)

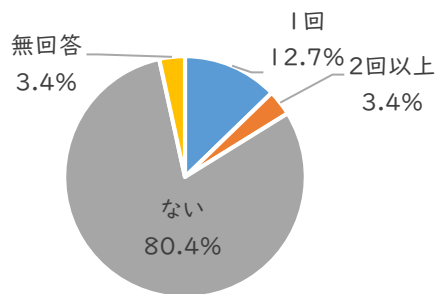
4. 結果

①年齢をお聞かせください



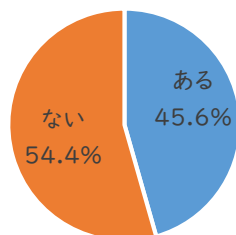
ママパパ学級に参加した人の年齢は、20歳代が39.9%、30歳代が57.1%であった。

② 20歳以上の方が対象の松戸市の成人歯科健康診査を受診したことがありますか？



成人歯科健康診査を受診したことがあるは16.1%であった。

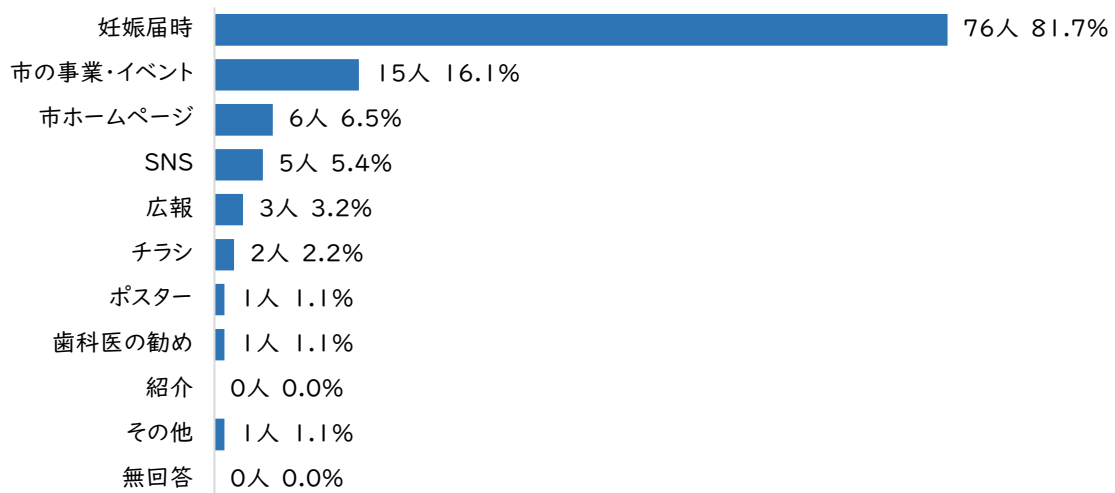
③ 妊婦歯科健康診査を受診したことはありますか？



妊婦歯科健康診査を受けたことがある人は45.6%であった。

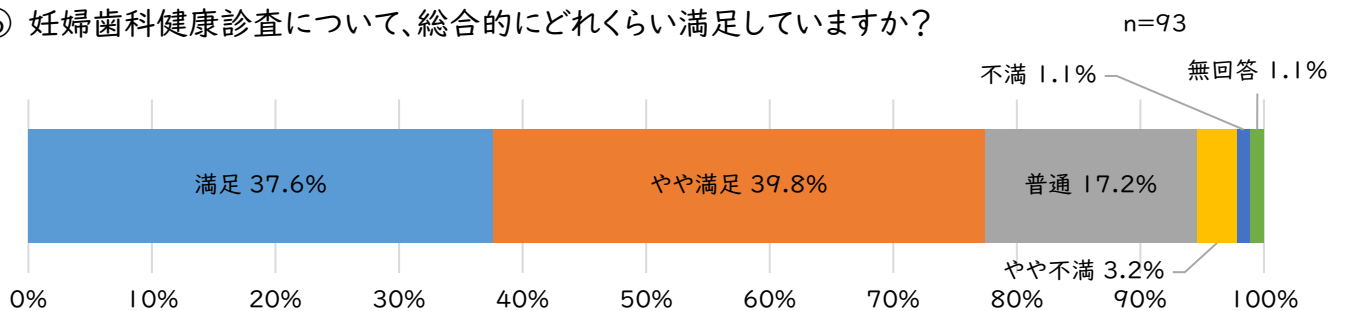
【妊婦歯科健康診査を受診した人】

④ 妊婦歯科健康診査を何で知りましたか？(複数回答可) n=93



妊婦歯科健康診査を知ったきっかけは、妊娠届時が81.7%であった。

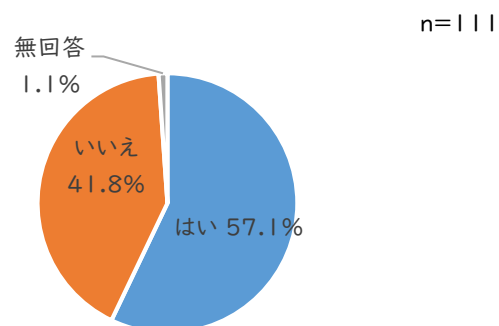
⑥ 妊婦歯科健康診査について、総合的にどれくらい満足していますか？



妊婦歯科健康診査を受診した人は「満足」「やや満足」を合わせると77.4%であった。

【妊婦歯科健康診査を受診したことがない人】

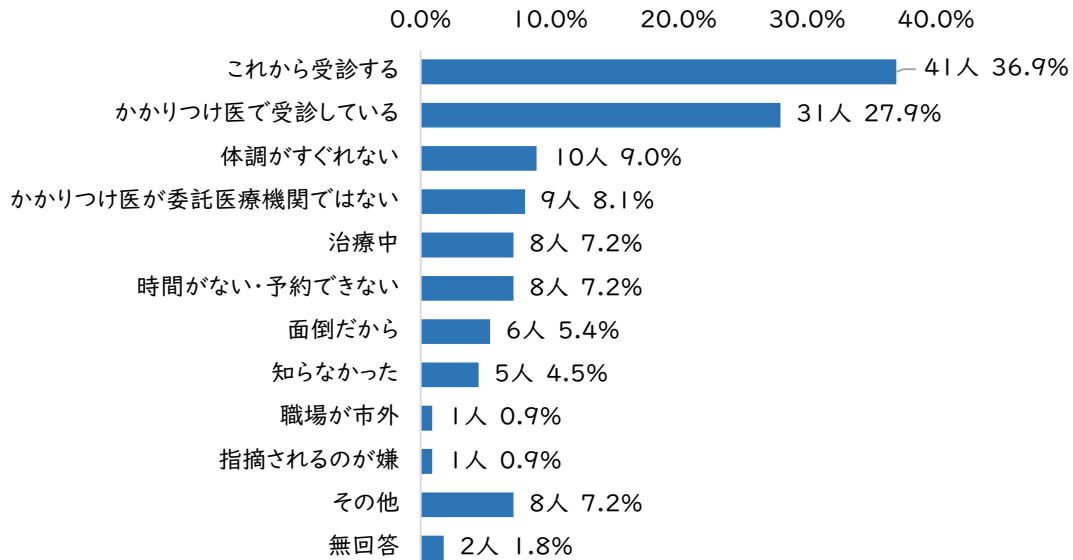
⑦ 妊婦歯科健康診査以外の歯科健康診査を受診していますか？



妊婦歯科健康診査以外の歯科健康診査を受診している人は57.1%であった。

⑧ 妊婦歯科健康診査を受診しなかった理由をお聞かせください(複数回答可)

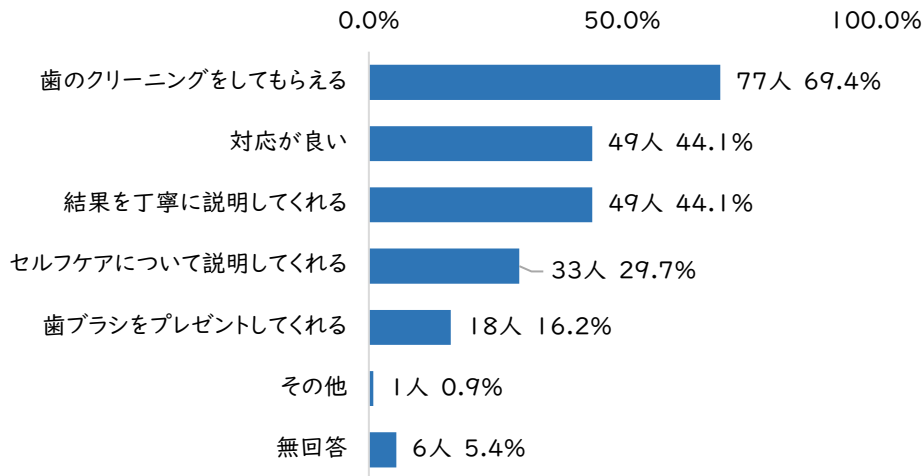
n=111



妊婦歯科健康診査を受診しなかった理由で「これから受診する」が一番多く36.9%であった。次いで、「かかりつけ医で受診している」27.9%であった。

⑨ どのような歯科健診なら受診してみたいですか?(複数回答可)

n=111



妊婦歯科健康診査に求めることは、「歯のクリーニング」が一番多く69.4%であった。次いで、「対応が良い」「丁寧に説明してくれる」44.1%であった。

まつど健康マイレージ

第 7 期上半期の実績（令和 4 年 9 月 30 日現在）

※第 7 期：令和 4 年 1 月 1 日～12 月 31 日 第 6 期：令和 3 年 1 月 1 日～12 月 31 日

表 1 第 6 期・第 7 期の応募件数

	第 7 期 応募件数			第 6 期 応募件数		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
5 月末	271 件	686 件	957 件	313 件	721 件	1,034 件
7 月末	551 件	1,419 件	1,970 件	542 件	1,351 件	1,893 件
9 月末	743 件	1,815 件	2,558 件	674 件	1,641 件	2,315 件
最終値	—	—	—	2,797 件	7,442 件	10,239 件

表 2 第 7 期 性別・年代別応募件数

	男性		女性		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
20 代	3 件	0.1%	28 件	1.1%	31 件	1.2%
30 代	18 件	0.7%	69 件	2.7%	87 件	3.4%
40 代	14 件	0.5%	102 件	4.0%	116 件	4.5%
50 代	38 件	1.5%	95 件	3.7%	133 件	5.2%
60 代	32 件	1.3%	206 件	8.1%	238 件	9.3%
70 代	280 件	10.9%	783 件	30.6%	1,063 件	41.6%
80 代～	358 件	14.0%	532 件	20.8%	890 件	34.8%
合計	743 件	29.0%	1,815 件	71.0%	2,558 件	100.0%

表 3 本事業への参加理由（2 つまで）

項目	第 7 期 N=2,558		第 6 期 N=10,239	
	件数	割合	件数	割合
健康づくりのはげみになるから	1,618 件	35.5%	5,954 件	33.4%
健康づくりのきっかけになるから	1,353 件	29.7%	4,953 件	27.8%
特典があるから	686 件	15.0%	2,822 件	15.8%
マイルを貯めることが楽しいから	484 件	10.6%	1,895 件	10.6%
家族・友人・知人に勧められたから	123 件	2.7%	824 件	4.6%
無回答	295 件	6.5%	1,370 件	7.7%

表 4 本事業に参加して健康意識は高まったか

	第7期		第6期	
	件数	割合	件数	割合
はい	2,167 件	84.7%	8,420 件	82.2%
いいえ	29 件	1.1%	142 件	1.4%
未回答	362 件	14.2%	1,677 件	16.4%
合計	2,558 件	100.0%	10,239 件	100.0%

表 5 第7期 自分マイルの取組み内容

主な取組内容	件数	割合
ウォーキングをする	1,781 件	34.1%
食生活に関すること	1,312 件	25.1%
睡眠・休養に関すること	1,248 件	23.9%
体を動かす	518 件	9.9%
筋トレをする	133 件	2.5%
スポーツをする	51 件	1.0%
生活習慣に関すること	63 件	1.2%
歯の健康に関すること	26 件	0.5%
ランニングをする	15 件	0.3%
こころの健康に関すること	13 件	0.2%
適正飲酒に関すること	25 件	0.5%
健康状態の把握に関すること	16 件	0.3%
その他	26 件	0.5%

表 6 ガンバマイル累積状況

順位	年代・性別	ガンバマイル数	順位	年代・性別	ガンバマイル数
1位	40代・女性	9,855 マイル	6位	80代・男性	5,245 マイル
2位	80代・女性	5,878 マイル	7位	50代・女性	5,227 マイル
3位	80代・男性	5,830 マイル	8位	90代・男性	5,179 マイル
4位	70代・女性	5,510 マイル	9位	80代・女性	5,166 マイル
5位	70代・女性	5,259 マイル	10位	70代・男性	4,999 マイル

「令和 4 年度 家族 de チャレンジ健康づくり」 報告

令和 4 年 10 月

1. 目的

健康松戸 2 | III 推進の一環として、小学生とその保護者が、一緒に健康に関する取り組みを行うことで、子どもの頃からの健康づくりおよび保護者世代の健康づくりを推進する。

2. 対象

市内公立小学校に通う小学 4 年生から 6 年生までの児童（45 校、11,384 名）とその保護者

3. 内容

小学生が、夏休み期間中、保護者と一緒に健康に関する取り組みを実施し、50 ポイントためると参加賞がもらえる（要応募）

※別紙（応募用紙）参照

4. 参加状況

参加校 44 校、応募用紙提出者 838 名（対象児童の約 7.4%）

※令和 3 年度

参加校 43 校、応募用紙提出者 830 名（対象児童の約 7.5%）

○学校別人数

最少 2 名～最多 212 名

○学年別人数

<参考 R3 年度>

学年	人数(人)	割合(%)
4 年生	307	36.6
5 年生	266	31.7
6 年生	262	31.3
その他	3	0.4

人数(人)	割合(%)
260	31.3
315	38.0
244	29.4
11	1.3

○保護者の年代

<参考 R3年度>

保護者の年代	人数(人)	割合(%)
20歳代	1	0.1
30歳代	189	22.6
40歳代	442	52.7
50歳代	64	7.6
60歳代	4	0.5
70歳代	3	0.4
不明	135	16.1

人数(人)	割合(%)
3	0.4
167	20.1
474	57.1
57	6.9
4	0.5
1	0.1
124	14.9

○チャレンジ項目のポイント数

チャレンジ項目	1組あたりの 平均ポイント値(ポイント) ※1項目21ポイントが満点
①朝ごはんを食べる	19.6
②1日2食以上、野菜を食べる	17.8
③1日2回以上、食後に歯をみがく	17.1
④1日1時間以上、体を動かす	13.3
⑤早寝・早起きで十分な睡眠をとる	17.9

参考 R3年度
20.1
17.9
16.8
11.7
17.3

5. 評価

- ①参加者数は838名(対象児童の約7.4%)であった。校長会や養護教諭部会等による各学校への働きかけや、SNS等で保護者への周知を図ったが、昨年度と比べて参加率の伸びはみられなかった。次年度に向けては、対象学年の拡大について検討をすすめたい。
- ②子どもの学年、保護者の年代については、昨年度とほぼ同じ傾向であった。
- ③項目別では、栄養に関する項目のポイントが高いが、昨年度と比較すると、口腔、運動、休養のポイントについても増加がみられた。